

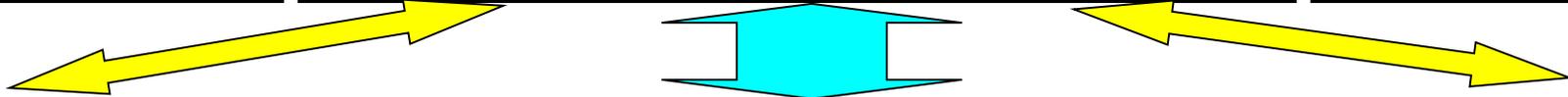
平成29年度 学力向上アクションプラン

B票

武庫小

学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査の結果から見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> (1)各教科の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・国語 文章の内容を理解し、要約や条件に合わせた作文などの文章作成能力 ・算数 自分の考えを数学的な手法(数、式、図)で表現する力 (2)質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には学校の授業には満足しているが、家庭において自分で計画を立てて学習することが苦手の児童の割合が高い。 ○保護者アンケートから見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭における学習時間が1時間未満の割合が半数(52%)にもかかわらず、家庭学習の保護者満足度が高い(80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学教授を招聘して、協働的な学習の授業モデルを作成する【(1)講師招聘支援を活用】 ○ 問題解決型・探究型授業の研究【(1)講師招聘支援を活用】 ○ 先進校におけるアクティブラーニング取組内容の検証による授業力向上(言語活動の充実)【(2)先進校視察支援(大会参加費)を活用】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学力層に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習)【(3)放課後等学習支援を活用】 ○ 復習(反復くり返し)の一体的な取組【(4)地域人材活用支援を活用】 ○ 家庭学習のてびきや自主学習ノートの活用(授業と家庭学習の接続) ○ 読書力の育成(業間読書、家読) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字・計算検定の取組(学習タイムの充実) ○ ICT機器を活用した授業 タブレットの活用 ○ 環境教育における地域人材(ホテルの会)の活用 ○ 地域に根ざしたキャリア教育(社会教育との連携) ○ ALT・JATを活用した外国語活動の充実【(5)外国語活動指導補助支援を活用】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> (1)学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平均正答率(全国平均+0.5ポイント以上) (2)質問紙調査(当てはまる+まあ当てはまる) <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な家庭学習(60%以上) ・学校は落ち着いて勉強できる(75%以上) ○ 保護者アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で「1時間以上学習する」(60%以上)



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼から小、小から中への円滑な接続を図るためのアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの検討と試行 ○ 入学前テストの検証を踏まえた小中における授業の改善の研修 ○ 夏季合同研修会・講演会の実施 ○ 小中で一貫した外国語教育の創造(授業参観交流の実施) ○ キャリアノートの活用 	<ul style="list-style-type: none"> (1)講師招聘支援 (2)先進校視察支援 (3)授業補助支援 (4)放課後等学習支援 (5)学力定着支援 (6)地域人材活用支援 (7)その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協働型授業モデル授業の作成(奈良佐保短期大学 川端講師 4回) ○ 放課後学習2h×25週 ○ 夏季休業期間2h×7回 ○ 計算力向上・作文力向上の検定や見本作成、自主学習のてびき ○ 学習支援の交通費 @500×2人×10回 読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上アクションプランの明示 ○ 「計算タイム」の実施による計算力の向上 ○ 家庭学習のてびきや自主学習ノート活用による学習習慣定着 ○ 学力調査結果の公表 ○ 地域の教育支援人材の放課後学習への活用